

# 『メカつく』企画書

## 1. タイトル

---

deadEndSparks (デッドエンドスパークス)

## 2. テーマ・ジャンル

---

ロボット×中二病能力のスーパーヒーローチームVS怪獣、そして記憶を失った主人公…。怪獣を倒す正当派ロボットアニメ…と思わせておいての驚きの展開、仕掛け・トリック。ミステリー・サスペンス要素を付与。話を二転三転させる。

物語の核となる過去と現代、真実と嘘。隠されたナゾとは…？

プロットの仕掛け・トリックのイメージは、ユージュアル・サスペクツ、マッシュスティックメン、ロートレック荘事件、十角館の殺人等。

あまり暗い世界観ではなく、コメディ・ジョークを入れてポジティブに。

## 3. 設定: 世界観

---

### 3-1. 過去篇

物語の舞台は近未来の世界。

ある日、巨大怪獣が現れ都市を襲う。陸空軍の総攻撃でなんとか撃破することに成功するが、その後も別の怪獣が次々と出現し世界は危機に陥った。そのため世界諸国は地球防衛特務機関 ARP を設立。怪獣迎撃用の人型兵器”arnold (アーノルド)”を建造して立ち向かう。

arnold の能力は各機体によって異なるので、共闘して怪獣を倒すことが重要で、パイロットによるヒーローチームを結成。

過去篇の舞台は主に日本である。

### 3-2. 現代篇

上記の10～20年後の世界。巨大怪獣の出現頻度が少なくなり、脅威が減ったものの、arnold を使ったテロ組織”triple negative(トリプル・ネガティブ)”が暗躍するようになる。

## 4. 設定: メカ・敵・組織・装置

---

### 4-1. メカについて

■メカの名前: arnold (アーノルド)

人型兵器。

怪獣に互角以上に対抗できる存在。

その理由は、謎のエネルギー体、MA・U・YO・U (マウヨウ) が動力に使われているからである。

パイロットは MA・U・YO・U と”シンクロ”（便宜的にシンクロという言葉を使います）して arnold を動かす。だが、MA・U・YO・U とシンクロできる人間は少ない。

また、より強くシンクロできるパイロットは、”能力の発動”が可能であり、それが重要である。能力の発動とは、ハクターハクターの念能力みたいなもの。例えば arnold から破壊光線、シールド等を繰り出すことができる。

#### ■ arnold、MA・U・YO・U についてのまとめ

- ・ MA・U・YO・U は青く光り輝く、石のような物体

- ・ arnold を動かすことができるが、能力の発動が使えないパイロットの方が多い。能力の発動を行えるものが正規パイロット。

- ・ 能力の発動が、怪獣を倒すためのキーポイント

- ・ arnold は、一度特定のパイロットとシンクロするとそのパイロットに順応するので、他のパイロットが操縦することは難しく、能力の発動は不可能。

つまり本人以外、フルパフォーマンスでの操縦は難しい。

**だが、本人の身体（DNA）、かつ本人の記憶があればシンクロ率が高い状態となり、フルパフォーマンスでの操縦は可能である。**

- ・ MA・U・YO・U は数が限られている。その理由は怪獣の動力が MA・U・YO・U で、回収し使われたものだから。

- ・ MA・U・YO・U は破壊できない

#### 4-2. 敵について

##### ■ 怪獣

地球を襲う巨大生物。

ランク付けがされており、E～SS 級がある。大昔、恐竜が滅んだ理由がランク SS 級の怪獣の出現とされている。

##### ■ triple negative（トリプルネガティブ）

ARP と敵対するレジスタンス組織。

元 arnold 正規パイロットが所属。arnold 数機他、量産型 arnold を保有する。

#### 4-3. 組織

##### ■ ARP（アープ）

怪獣殲滅を主要任務とする組織、特務機関。

#### 4-4. 装置

### ■ realflow（リアルフロー）

記憶を思い出すための装置。arnold に記憶されているといわれる本人の記憶を、実在体験のように経験させる。イメージ的には映画トータル○コールの装置。

またそのプロセス中、映像化してスクリーンに投影するなどして、第三者も見ることが可能。

## 5.キャラクター

---

### ★ 現代篇登場キャラクター

#### ■カズマ・ハガクレ

記憶を失った主人公。過去、地球を救った伝説のヒーローであるという。本人は絶対ウソでなにかの陰謀だと思っている。記憶も大事だが、目下のところ、ランとヒエバナの対処に忙しい。落ち込みはするがわりと楽観的。

#### ■ラン・マズルカ

ヒロイン。宇宙船メザニンのドSの船長。トリックスター・トラブルメーカー。愛称はらん子。量産型 arnold を動かすことは可能。

#### ■ヒエバナ（冷花）

宇宙船メザニンの副長兼操舵士の少女。冷静沈着、おしとやかで大人しいが、わりとドSの少女。兼、ランへのツッコミ役。実はアンドロイド。通称冷えさん。量産型 arnold を動かすことは可能。

### ★ 過去篇登場キャラクター（現代篇でも登場）

#### ■ミワ・ミカド

過去篇のヒロインのパイロット。arnold へのずば抜けた適正・素質からパイロットに選出されたが、本人にやる気はあまりない。超絶お嬢様。ふんわり系女子。ヒーローチームの一人。

#### ■リリ・クスノキ

女性パイロット。過去篇ではリーダー的ポジション。現代篇では司令官。人を食ったような態度だが、仕事はできる。口が非常に悪い。愛称リリクス。ヒーローチームの一人。

#### ■ララビー・バーン

ヒーローチームのリーダー・指揮官…になりたいと勝手に思っているパイロット。好戦的だが部下思いのいわゆる軍人氣質。熱すぎる性格に周囲は閉口。一方で、躁鬱気質。ミワに惚れている。ヒーローチームの一人。

#### ■タクト・ヤガスリ

arnold の”回復能力”というレアな能力を発動できる美少年。そのため整備士としても重宝されている。温和だが気弱で優柔不断。リリ・クスノキからの罵倒に日々耐えている。ヒーローチー

ムの一人。

### ■アブノイ

すべてが謎に包まれているが、一応ヒーローチームの一人。G○ジョーのスネー○アイズのようなキャラ。ミワのピンチに手を出すなど、ミワの護衛、ストーカー等のウワサ。

能力はテレポートの他、サイズを変更できる。人前に現れるときは、人間サイズになった arnold の姿で登場する。

### ■Dr

いわゆるロボットアニメの博士。arnold、realflow の開発者。

## 6.あらすじ 冒頭篇(60分)

---

真っ暗。警報だけが聞こえる。アラートの赤いランプが朧気ながら掠める。

カズマが目を覚ますと、たった今襲撃を受けたと思われる損傷した宇宙船メザニン。

カズマの目の前に二人の少女が立っている。

カズマは問う。

「ここはどこだ？」

次の瞬間、ランからバックドロップを受ける。

「脳への衝撃でなんとかかなと思って」

ヒエバナ、ランの行動に戸惑いながらその場を収める。

「俺は一体…誰なんだ」

「あなたはハガクレ・カズマ」

…記憶を失っているらしいカズマ。

ヒエバナ、カズマにホログラム映像を見せる。

ヒエバナは語る。

主人公他、勢揃いした写真。カズマは伝説のヒーローだった。

ダウンカイザーを操るため、一刻も早く記憶を思い出すことが先決。

現状でも動かすことは可能だが、能力の発動はおろか、フルパフォーマンスで操縦はできない。

一度世界を救ったとされる、そのときの経験と記憶が必要なのだ。

元々、カズマは世界を救ったそのときの負傷により記憶障害を起こしていた。

襲撃前に realflow（記憶呼び起こし装置）による記憶再生のプロセスが途中まで完了していたが、襲撃の衝撃ですべて記憶を失ってしまったらしい。つまり振り出しに戻った。

…は？

いまいち事情を飲み込めず、戸惑うカズマ。

「また最初からだと時間が掛かり過ぎる。ここは途中からプロセスを強制開始したらどうかな」

ヒエバナは司令官の許可が必要であり、危険と忠告するも、ランは独断で行動。

カズマ、せかされ、わけもわからず realflow（記憶呼び起こし装置）に繋がれる。  
「どうせ思いだすんだから悩むな」

過去に場面が変わる。

作戦司令部。

「カズマ君、聞いているか？」

カズマ、他パイロット（ヒーローチーム）、指揮官による作戦会議。

今日はカズマの初陣の日。

カズマはパイロット適正はあるものの、能力の発動には至っていない。

実戦により能力を開眼させるのが目的。

出撃し、巨大怪獣と対面するカズマ。見守るヒーローチーム。

ヴォイスオーバーで聞こえるのランの声。ピンチであるという。

現代では、ヒエバナが駆る arnold が triple negative（テロ組織）の量産型 arnold 数機に応戦中。

カズマ、realflow に繋がれたままコクピットに放り込まれ、出撃。

場面は過去に戻る。

楽勝と思われたが、怪獣がランク E ではなく、変質タイプのランク A だと分かる。

現代、過去ともにピンチの状態に陥る。

カズマ、怪獣に掴まれ危機的状況で、ヒーローチームの仲間が助けようとする、リリ・クスノキにより制止される。能力の発動のためであるという。

そしてカズマがついに能力を発動させる。

砕け散る巨大怪獣。

それと同時に、現代では triple negative の量産型 arnold 一機が砕け散る。triple negative は退散する。

過去に場面は戻り、テレビ取材、ヒーローインタビューが行われている。

「見事でしたね 最後の技の名前は？」

「えっと dead end」

「デッドエンド？」

「… sparks」

「デッドエンドスパークス！」

歓声上がる。適当に言った中二病っぽい技、採用される。

## 7. あらすじ 2話～12話篇

---

### ■ 2～4話

過去、現代交互に場面がかわりつつ、キャラクター描写（登場人物設定参照）。

○過去篇の主な出来事

- ・カズマ、ミワのことが好きになり始める、恋のライバル（ララビー）も登場。
- ・各パイロット、各 arnold の能力お披露目。中二病っぽい技を駆使して怪獣を倒してゆく。
- ・アブノイは謎に包まれているが、ミワを助けるような動きをする

- ・怪獣が MA・U・YO・U による動力であることが分かる。
- ・稼働中の arnold、北極にて回収された、3 億年前の怪獣の死体から抽出された MA・U・YO・U 動力であることが分かる。大昔にも怪獣たちが同時期に地球を襲った事実。
- ・カズマの能力は本来破壊できない、” MA・U・YO・U の破壊” 怪獣ランク SS 級すら倒せる可能性を持つ。

#### ○現代篇の主な出来事

- ・ triple negative による襲撃が続く
- ・カズマ、年を取っていない疑問→記憶を取り戻す前、冷凍保存されていた、と説明を受ける
- ・リリ・クスノキ（ARP の司令官、ランの上司）による映像通信による罵倒。
- ・負傷した arnold 修理のためタクトがメザニンへ合流
- ・Dr は MA・U・YO・U の生産を目指して四苦八苦
- ・ヒエバナが実はアンドロイドだと分かる。

#### ■ 5 話

過去編。

ランク SS 級怪獣出現、人類最大の危機に陥る。

また、ARP に対して triple negative のテロ（ARP 襲撃事件）。

三つ巴の 量産化したロボ、怪獣。 総力戦、市街戦。

ミワが戦死する。

カズマの涙。

辛勝——ここで realflow のプロセスは終わる。

過去編が終わり、現代につながる。

死んだミワのことでショックを受けるカズマ。

一方で、カズマは、どこか自分のことでないような気がしてしっくりこない。

#### ■ 6 話

主人公に浮かぶ疑問の数々。思い出している、とはどこか違う気がする。

なぜ俺は年を取っていない？

ついに triple negative の進入を許してしまう。

real flow から何かが取り出される。

なんと年を取ったカズマ（以下、カズマ（大人））。

そう、これは他人の記憶（カズマ（大人））だったのだ。

realflow は他人の記憶を流し込む装置。

正確にはカズマ（大人）のクローンとして生まれた主人公カズマ。だから若い姿だったのだ。

カズマ（大人）はいう、「ショックかも知れないが…君はダウンカイザーを動かすためだけに生まれた。ARP はおまえを利用している、俺の記憶にはまだ続きがある、特にララビーに気をつけろ」

ヒエバナ、隙を見て銃を取り出し、敵と銃を向け合う図となるものの、カズマ（大人）を人質にされ手が出せず、カズマ（大人）は連れ去られる。

そして落胆したカズマたちの前に、アブノイが突如テレポートで現れるのだった。

## ■ 7～8話

カズマ、失意と混乱、ARPに対する不信任感。

そして絶望。

カズマは思う。ARPは本当に自分にとって敵なのか、また triple negative の狙いは？

リリ（司令官）、ラン、ヒエバナはARPに騙されていたと主張。

すなわち、ランとヒエバナは、カズマの記憶を取り戻しダーンカイザーをフルパフォーマンスで操縦させるためのミッションと聞いていたが、カズマ（大人）の出現によりそれが嘘だったと

ランはリリ及びARP本部を信用できないという。

カズマはランを信じる。

メザニン一行はカズマ（大人）を追う。

リリによると、本部も混乱しているが、目下の作戦はダーンカイザーとカズマ（大人）の奪還である。本部からは、ララビーが派遣される。

アブノイの驚異的な強さにより、奪還成功。

メザニン一行ら、ARP本部へ。

カズマ（大人）の証言により、ララビーもついでに拘束される。

ララビーは無実を主張するものの、カズマ（大人）は証拠は自分の頭にあるといい、realflowにより映像が再生される。

…ララビーの裏切りの場面。arnold等を triple negative に横流し、裏で操っていた。ARP襲撃事件の首謀者の疑い。

そしてDrの非人道的実験も暴かれる。すなわち、カズマのクローンの件の首謀者。

本部はララビーとDrによるものとし、暫定的に拘束する。

また、ARP本部への嫌疑も晴れる。

ララビーとDrの関係性と謀略をより深く暴き、証拠をそろえるため捜査が始まる。が、Drの動機・目的が不明、また証拠がカズマ（大人）の記憶にしかなく、捜査は行き詰まる。

そんな折、カズマ（大人）が精神に異常をきたしはじめる。病院施設に入れられ、だが証言者であるので厳重な警備による監視下におかれる。

一方、カズマは自分の出生、過去について意味を問い始める。自分が生きている意味を見いだしたい。重い気持ちを引きずっていると、ランは「ハゲるぞ」という。そんな汚い言葉でも、気持ちは明るくなるのであった。

ある日、タクトがカズマ（大人）の見舞いに訪れる。

散歩の飛行ドライブ中、その車（小型艇）が爆破される。

カズマ（大人）は一命を取り留めたものの重体。

爆発の直撃を受けたタクトは人間の形を留めていない凄惨な死体で見つかる。

カズマ（大人）の口封じなのではと推測される。

カズマ、ラン、ヒエバナ、探偵行動。ミステリー的展開。

内部資料を漁ったり、聞き込みなどする。

・ララビーにはアリバイがある。ARPに内通者は他にいるのでは？

- ・内部資料の公式な全 MA・U・YO・U の数と、arnold の数が著しく違う。MA・U・YO・U は怪獣からしか採取できないはずで、未確認の数の誤差も含めてデータが大きく食い違うことはおかしい。既に MA・U・YO・U は人為的に生産されているのでは？
- ・粉々になった MA・U・YO・U の破片を保管している場所が見つかる

## ■ 9～10話

triple negative による本部襲撃。

さらに研究施設の防衛機能停止、ARP 保有量産型 arnold 奪われる

これは Dr、ARP の一部の人間でしか作動できないシステムで (Dr は拘束中)、

ますます ARP 上層部に嫌疑がかかる

混乱の中、応戦。ARP の正規パイロット達も ARP の命令を無視し、各々が勝手に行動する。

Dr、triple negative によって救出される。

triple negative、劣勢に陥る。

triple negative の切り札、スータイタン (ミワの搭乗機だった) が本部中心部へ進行する。

スータイタンに攻撃する arnold に、アブノイが攻撃する。アブノイのテレポートによる驚異的な強さに圧倒される一行。手が出せない。

過去篇でアブノイはミワ (スータイタン) を守っていたが、現代でも同じである。

スータイタンは tripleneegative のパイロットが操っている (ミワではない)。

誰も動けずに居る中、カズマがボロボロの身体で、仲間の制止を振り切り量産型 arnold で出撃する。

カズマ (大人) はカズマにいう。

「すまなかった。全部俺のせいだ」

カズマ (大人) 操る量産型 arnold とアブノイの死闘。

アブノイの攻撃がカズマ (大人) 操る量産型 arnold にヒットし致命傷、

同時にカウンターパンチ、スータイタンのコクピットに直撃、スータイタンの動きが止まる。量産型 arnold、スータイタン両機爆破寸前。

カズマ (大人) はいった。

「ずっとそばにいたんだな。アブノイ、最後のお願いだ。ミワのところへ連れて行って欲しくないか」

量産型 arnold、アブノイ、スータイタン、白い光に飲まれ、消える。

カズマにより triple negative のリーダー機撃破、リーダーを捕縛。

事態は収束、登場人物、一同に会する。

triple negative のリーダーがいう。

「我々は裏切られた、話が違う…」

いいかけたところで Dr が triple negative のリーダーを射殺する。

Dr はいう。

「クズは黙っている。私が裏切られたんだよ」

——すべての種明かしが始まる。

○今回の騒動に関することの要点

- ・タクトは生きている。タクトの死亡は偽装。研究施設の防衛機能を停止させたのはタクト。



- ・偽装の方法は、タクトの培養した細胞（出来損ないのクローン）を利用。
- ・タクト＝Dr。Drはタクトに realflow により強制的に記憶を植え付けていた。
- ・今回の作戦は Dr とタクトのアリバイにより、上層部への不信を誘発し、指揮系統の破壊、さらにタクトが秘密裏に進めているクローン兵団との合流。だが、タクトの裏切りにより合流はなされなかった。加えて triple negative のリーダーは Dr を救出して助けを乞ったために（予定ではなかった）、Dr がわざと拘束されていたことを台無しにした。
- ・タクトの目的は、漁夫の利。あわよくば Dr の死。
- ・タクトは Dr であるが、完全に Dr ではない。操っていたつもりが操られていた。

#### ○カズマ（大人）・アブノイに関することの真実

- ・カズマ（大人）が精神に異常をきたしていたのは、本当の記憶を思い出していたから。
- ・本当の記憶とは ARP 襲撃事件でミワが戦死したのではなく、カズマ（大人）がミワを誤って殺してしまったこと。犯人はララビーではなく、Dr であること。
- ・ミワが死んだとき、Dr は提案した。ミワをタクトの力で生き返すことができるが、それには MA・U・YO・U の力の解明が必要。カズマ（大人）はどんなことにも協力するといひ、それが悪魔の取引であるとしりつつ、応じてしまう。もちろん、生き返すことなどできない。
- ・カズマ（大人）の記憶の一部のすり替え操作は簡単だった。本人が忘れようとしていたからだ。
- ・しかし記憶操作は不安定であるがゆえ、必要に応じて殺す予定だった。タクトによる殺人未遂がこれ。
- ・アブノイはスータイタンの能力。ミワが知らずに発動させていた守護霊的な存在。ミワの死後も存在し続けた。だからアブノイは、ミワを守るような動きをしていた。

#### ○Dr とタクトの目的の真実

- ・MA・U・YO・U の量産化は成功している
  - ・タクトのアワレの能力は、再生。MA・U・YO・U を再生することもできる。
  - ・カズマのダーンカイザーによるデッドエンドスパークスは”MA・U・YO・U を粉々”にする。タクトのアワレにより、破片一つ一つを”MA・U・YO・U を再生”する。これにより MA・U・YO・U を量産できる。MA・U・YO・U は既に生産されていた。
  - ・カズマのクローンが必要だった理由は、最強の arnold の所持と何も知らない無垢なヒーローとして活躍させ、知らずのうちに MA・U・YO・U を量産させるため。
- そして、MA・U・YO・U の大量製造による arnold の無限製造とクローンによる強力な武力を手に入れることが目的だった。圧倒的な力による、世界・宇宙の支配。怪獣など視野に入っていない。

Dr はタクトに対して、切り札を持っていた。すべてをばらし、タクトを殺すための切り札。つまり、以上の証言を裏付ける証拠の一つを。

arnold 自体に記憶は残っている。カメラみたいなものだ。realflow で映像化すればいい。この事実をタクトは知らない。

Dr はタクトが裏切るのではないかと薄々気づいていた。

Dr、自分を撃って自殺する。

タクトにより、既に arnold の量産化とそれを操縦できる DNA を持ったクローンによる強大な部隊は形成されつつある。

最後の戦いの火蓋が切って落とされた。

少し時間を遡る。

——命がつきようとしているカズマ（大人）。

「連れて行ってくれないか」

アブノイなら、過去へもテレポートできるのではないか。そんな希望を持って言った。

光に包まれ、テレポートする。

月、木星、銀河、ブラックホール。そして光を抜ける…。

そこは…過去の記憶かまたは時空を超えたかまたは並行世界かまたはたまたま天国か…遡り始める時間。そして、カズマ（大人）がミワと初めて手を繋いだ思い出の場面が変わる。

…たどり着いたのだった。

そこは、一番幸せだった瞬間にちがいない。

## ■ 11～12話

カズマは思う。

自分の生きる意味とは？

俺は彼の一部だ。自分がクローンとして育てられてるときのことも思い出した。

幾度となく挿入される回想シーンは、懐かしい記憶。夕日。生まれた意味は…言い得ぬ何か。

最終決戦。

タクト搭乗機のアワレは、再生を繰り返し改造し巨大化し、突然変異した変貌したおぞましい姿。ARPのヒーローたち&アンドロイド兵 VS タクト&クローン兵。

戦いの中、ヒエバナ、能力に目覚める（人間として）。合体する能力、ヒーローチームの合体。

タクトを追い詰める。

最後のデッドエンドスパークス。

爆発に巻き込まれホワイトアウト。

真っ暗。カズマ、目を覚ます。目を開ける。ラン、ヒエバナが傍らに立っている。まさか夢だったのか？（冒頭に戻ったのか？）

吹き出すランとヒエバナ。…夢なわけないでしょう。

カズマに抱きつくラン。

——タクトを倒した。

でも自分にはクローンとして育てられたつまらない記憶しか残ってない。

ランはいった。

「これから作ればいいじゃない」

ランの笑顔が、はじける。

## 8.付録A 登場メカの設定

---

### ・ダーンカイザー

パイロット：カズマ・ハガクレ

ランクE~???

必殺技：デッドエンドスパークス

MA・U・YO・Uを破壊できる。

### ・ポンプティー・コーン

パイロット：ララビー・バーン

ランクB

能力：四大元素、地水火風にちなんだ様々な中二病的攻撃技を駆使。技のデパート。

必殺技：SRM（スウィート ロマンチック ミュージック）

技の全放出 コレを使ったらもちろん動けなくなる。

音楽と、技により、その場はディスコのミラーボールのような色鮮やかな光に包まれる。

### ・リリクス

パイロット：リリ・クスノキ

ランクA

能力：様々な武器から、その武器にちなんだ破壊エネルギーを放出

必殺技：ニュー・ハイパーバラッド

スナイパーライフル型高出力カビーム・ランチャー。一発撃ったら冷却のための停止時間が必要。

この世界では富士山に穴が空いているが、ニューを冠する前のハイパーバラッドのなんとなくの試し打ちの結果。

### ・アヴノイ (AVNOY)

パイロット：???

ランク???

能力：テレポート、サイズ変更

### ・スー・タイタン

パイロット：ミワ・ミカド

ランクE~D

能力：バリア

### ・アワレ

パイロット：タクト・ヤガスリ

ランクC~B

能力：回復。

必殺技：アン・ドウ

ほぼ大破からの再生。パイロットは消耗により約一週間寝込むはめになる。